

令和2(2020)年度 日の出保育園運営評価(令和3年1月実施) 集計と考察

上段：今年度 下段：前年度 A(そう思う) B(どちらかという、そう思う) C(どちらかという、そう思わない) D(そう思わない)

項目	質問	評価				考察
		A	B	C	D	
経営理念	① 経営方針は、目標や重点などが分かりやすく示されている。	88	13	0	0	<p>① ②は、全員が同じ考えに立てました。その思いをひとつにして、日の出保育園らしさをさらに伸ばしていけるように努めてまいります。</p> <p>② ④については、今年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策として、説明会の機会を持つことができませんでした。玄関の掲示や園だよりで保育園づくりの思いをお伝えしてきました。 今後、様々な機会をとらえて、本園の方針を伝えてまいります。保護者に対しては、「経営方針」というよりも、保育園の思いを伝えていくという姿勢で臨んでまいります。</p>
		81	19	0	0	
	② 経営方針は、日の出保育園らしさが出ている。	96	4	0	0	
		81	19	0	0	
	③ 経営方針を読むと、社会の要請や保護者の願いがわかる。	71	29	0	0	
		59	41	0	0	
	④ 保護者に対し、経営方針を伝えている。	29	66	0	5	
		52	48	0	0	
	⑤ 経営方針のねらいは、理解している。	50	46	5	0	
		50	50	0	0	
保育	① 全体的な計画は、園児の保育に即した内容である。	78	22	0	0	<p>① 今年度は、年間をとおして複数回の評価の機会を持ちました。そのチェックシートがこの評価にどう影響したかはわかりませんが、⑦を除いて、C、D評価はなく、A評価もやや上昇しています。</p> <p>② 環境構成については、年齢やクラスの実態、季節、活動、担任の持ち味などによって、常に、動的であると思われる。 現状に満足することなく、環境構成を工夫し、常に、子どもに対し新鮮な刺激を創り出してまいります。</p>
		73	27	0	0	
	② 保育所保育指針に基づく援助・支援を行っている。	50	50	0	0	
		59	41	0	0	
	③ 「十の育ちの姿」を意識して保育に当たっている。	44	56	0	0	
		29	65	6	0	
	④ どの子どもに対しても分け隔てなく保育に当たっている。	44	56	0	0	
		50	44	0	6	
	⑤ 一人一人の子どもの特性に合わせて保育を工夫している。	44	56	0	0	
		44	56	0	0	
⑥ 環境の構成を意識した保育を工夫している。	56	33	11	0		
	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
⑦ 素材・用具を有効に活用している。	56	39	5	0		
	39	56	6	0		
⑧ 月間指導計画は、季節に合わせたメリハリのある計画である。	67	33	0	0		
	44	56	0	0		
⑨ 月の反省・評価を基に、保育の改善に努めている。	50	50	0	0		
	39	61	0	0		
子どもの発達援助	① 行事の種類や実施回数は適切である。	61	39	0	0	<p>① 感染予防対策として変更を余儀なくされましたが、それぞれ、創意工夫し、行事を継続することができました。 次年度以降も、より望ましい在り方を目指して、工夫改善を進めてまいります。</p> <p>② ③を考える上では、行事の中に子どもの主体性をどのように取り入れるか、具体的な実践を通して問題提起していきます。</p>
		44	56	0	0	
	② 行事のねらいが達成されるように創意工夫している。	67	33	0	0	
		39	61	0	0	
	③ 子どもは達成感、成就感を感じていると思う。	50	50	0	0	
		22	72	6	0	
	④ 行事は、保護者の願いや期待に応えている。	28	72	0	0	
		19	81	0	0	
健康安全	① 組織的に健康安全・保健対策を講じている。	56	44	0	0	<p>① 新型コロナウイルスを含め、感染症予防は最優先すべき課題です。公式発表など、社会の動向を把握し、組織的に安心・安全な保育園づくりを進めます。</p> <p>子どもの命を預かっているという自覚と緊張感を持ち、どの保育士も同じ温度で取り組むことを基本とします。</p>
		56	44	0	0	
	② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて実施している。	84	16	0	0	
		61	39	0	0	
	③ 必要な習慣や態度の育成について、家庭への啓発を行っている。	61	33	6	0	
		33	67	0	0	

	④	園児の安全確保のため、地域や関係機関等と連携を図っている。	28	56	16	0	
			17	72	11	0	
クラス経営	①	クラス目標は、経営方針に基づいて設定している。	67	33	0	0	<p>① ②⑤についてC評価が見られます。特に、②は、28%です。 クラス経営案、週案、月案などを形式化することなく、振り返りの機会を計画化する必要があります。教務で検討します。</p> <p>② ④について、個人がどのような記録の取り方を行っているか、日常実践を交流する機会は、個々の保育の質を向上させるうえで有効と思われます。</p>
			59	35	6	0	
	②	クラス経営案は、定期的に評価・改善、見直しを図っている。	33	39	28	0	
			31	63	6	0	
	③	役割分担、役割交替によるチーム保育を行っている。	56	44	0	0	
			61	33	6	0	
④	子どもの育ちを把握する記録や資料を整えている。	39	61	0	0		
		56	44	0	0		
⑤	週案、月案は、メリハリのある内容を工夫している。	50	44	6	0		
		32	68	0	0		
公開	①	保育の様子が積極的に公開されている。	94	6	0	0	<p>① 今年度も、各クラスの持ち味を生かし、創意工夫した作品、掲示、ホワイトボードなどを通じて発信してまいりました。 今後も本園の特色ある取り組みとして進めていきます。</p>
			61	39	0	0	
	②	保育参加日は、ねらいに即した内容になっている。	88	12	0	0	
			72	28	0	0	
	③	保護者面談は、子どもを理解する機会として生かしている。	83	17	0	0	
			89	11	0	0	
信頼関係	①	保護者との信頼関係づくりに留意している。	59	41	0	0	<p>① 保護者との信頼関係なくして一人一人への適切な支援は不可能です。 こちらの考えを優先するのではなく、親身に相談に応じる姿勢を大切にいきます。</p>
			56	44	0	0	
	②	一人一人の子どもについて、家庭の養育方針などを把握している。	35	53	12	0	
			17	78	6	0	
	③	保護者の話を最後まで聞くように心がけている。	71	29	0	0	
			72	28	0	0	
子育て支援	①	送迎の際に、保護者に進んで話しかけるようにしている。	56	39	5	0	<p>① 前項目「信頼関係」と関連しますが、子育て支援は、結論を急ぎ過ぎず、保護者とともに考える姿勢で臨んでいきます。</p> <p>② 保護者との関係づくりについては、保育士個人で抱え込むことがなく、クラス内、主任保育士等と相談しながら、保育園全体で対応していくのが基本です。</p>
			53	47	0	0	
	②	保育園は、親同士が交流する機会を提供する必要がある。	17	50	33	0	
			13	56	31	0	
	③	保護者の子育ての悩みを理解し、相談できるように心がけている。	39	61	0	0	
			28	67	6	0	
④	医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図っている。	28	67	5	0		
		33	61	6	0		
研修	①	保育指針や保育課程に基づく研修が進められている。	56	44	0	0	<p>① 今年度は、園外研修の機会が限られたのは残念でしたが、園内研修については、係を中心に、より身近で実践的な内容を工夫することができました。</p> <p>② 次年度以降は、オンラインの研修が主流になることでしょう。 機会を待つのではなく、積極的にオンラインを活用できるようにそういうスキルを身に付けていく必要があります。</p>
			50	39	11	0	
	②	園内研修の計画・運営は適切である。	72	28	0	0	
			83	11	6	0	
	③	研修の成果が、日々の保育に生かされている。	39	61	0	0	
			50	50	0	0	
	④	各種研究会、研修会、講習会等に参加できる職場である。	72	28	0	0	
			76	24	0	0	
	⑤	研修の成果は、職員に還元されている。	67	33	0	0	
			67	33	0	0	
①	職務内容が明確で、能率的な運営組織である。	63	38	0	0	<p>① この項目では、昨年まで評価に差異がありましたが、一定の共通理解が図られつつあると捉えられます。</p>	
		46	50	4	0		
	②	職員の配置は、適材・適所	50	46	5		0

保育を支える組織的基盤	組織・運営	㉔	である。	27	62	12	0	<p>③ ⑤については、個人の気付きに期待するだけでなく、互いに声掛けし、気付きを促すようにしていく必要もあります。</p> <p>個人の当たり前ではなく、職場として、日の出保育園としてのスタンダードをそれぞれが意識できるようになることが望まれます。</p> <p>④ 新年度は、分掌を3部制にして、課題解決の重点化を図ります。</p> <p>① 一人で担うと人的なミスが発生しやすくなります。複数体制で、チェック機能を果たし合いながら、疑問点については放置することなく確認し合うなど、今後も、適切な処理に努めてまいります。</p> <p>② アレルギー対応食は、評価としても昨年を上回りました。引き続き、各職員で丁寧な取組を進めます。</p> <p>① 昨年同様、全体としては肯定的な評価の割合が高く、今後も施設・設備の整備に努めてまいります。</p> <p>① ③「他園との連携」については、その必要性について認定子ども園、幼稚園の実情を理解し、就学前教育の視点で考えていく必要もあるでしょう。</p> <p>① 課題がないわけではありませんが、一人一人の自覚や気づかいによるところが大でありますから、引き続き、周囲への目配りや配慮に期待しています。</p> <p>ただし、教えるべきこと、伝えるべきことがあれば、遠慮なく本人に伝えられること、そういう厳しさを兼ね備えた上で、一人一人の良さを認め合える職場にしていきたいでしょう。</p>
		③	仕事の分担・割り当ては適切である。	67	33	0	0	
				27	62	12	0	
		④	各種会議・打合せの回数、時間、内容など、運営は適切である。	63	38	0	0	
				35	62	4	0	
		⑤	日常的に、職員の協力体制が良好である。	46	42	13	0	
			27	58	15	0		
	⑥	職員間の「報告・連絡・相談」による意思疎通が図られている。	42	58	0	0		
			27	54	19	0		
	管理	①	公文書收受 発送 処理を適切に行っている。	63	38	0	0	
				68	32	0	0	
		②	各表簿は、適切に処理、管理されている。	67	33	0	0	
				72	28	0	0	
		③	各種会計は、複数体制で適切に処理している。	58	42	0	0	
				68	32	0	0	
	④	園児や保護者に関する個人情報 を適正に取り扱っている。	79	21	0	0		
			84	16	0	0		
	⑤	アレルギー対応食は、円滑に提供されている。	88	13	0	0		
		80	20	0	0			
施設・設備	①	施設設備の安全点検を計画的に行っている。	75	25	0	0		
			85	15	0	0		
	②	子どもの遊具や用具は使いやすいように整理・保管している。	83	17	0	0		
			65	31	4	0		
③	職員用の備品や用具は、使いやすいように整理整頓されている。	75	25	0	0			
		62	35	4	0			
④	玄関は施錠し、不審者の侵入を防いでいる。	67	29	4	0			
		62	31	4	4			
連携	①	保育所だより・クラス通信、ホームページ等で情報を発信している。	94	6	0	0		
			95	5	0	0		
	②	園の行事や運営の様子を地域社会に知らせている。	72	28	0	0		
			85	15	0	0		
③	他園との連携の必要性を感じる。	28	56	16	0			
		30	60	5	5			
④	小学校との連携に取り組んでいる。	72	28	0	0			
		72	28	0	0			
働きがい	①	働きがいを感じられる職場である。	50	50	0	0		
			44	44	12	0		
	②	悩みや相談事を話せる人が職場にいる。	67	29	4	0		
			35	50	15	0		
③	職員一人一人の意見や考えが尊重されている。	38	46	17	0			
		38	31	27	4			
④	園長は、リーダーシップを発揮している。	83	17	0	0			
		88	8	4	0			